

金融庁のバージョンアップの取組について

2026年8月

金融庁のバージョンアップの取組概要①

- 2025年8月に長官直轄チーム「金融庁20年委員会」を設置し、同委員会が中心となって、5年後、10年後、20年後も質の高い金融行政サービスを提供していく、進化し続ける金融庁を実現するための取組を検討。
- その一環として、2025年11月から本年2月にかけて、①金融行政の目標や役割、②金融庁の組織と職員を不断にバージョンアップしていくための課題等について、全庁一丸となって集中的に議論を実施。

目標の共通理解

- ・金融庁のバージョンアップの基盤として、金融行政の目標や役割の共通理解を深め、日々の業務の原点を見つめ直すため、少人数のグループでの議論を、全階層の職員が参加して行った。
- ・金融行政の目標を職員が身近に感じる契機となるスローガンを策定した。

【金融行政のスローガン】

- ・ 金融行政の目標等に関する全庁的な議論の結果を踏まえて検討を重ね、複数回の職員アンケートを実施の上、以下の金融行政のスローガンを策定した。
- ・ このスローガンは、金融行政が目指す、金融システムの安定、利用者保護、市場の公正性・透明性（いわゆる「守り」の側面）と金融仲介機能の発揮、利用者利便、市場の活力（いわゆる「攻め」の側面）の両立を表現している。



金融の信頼を守り、明日への挑戦を拓く。

ひら

金融庁のバージョンアップの取組概要②

○ 金融行政のスローガンに込められた目標の達成に向け、以下の金融庁のバージョンアップの取組を実施。

人材育成

- ・専門性の向上：知見の蓄積・継承や新たな課題への対応を図るため、検査官人材育成チームを設置し、検討を開始した。他分野も含め、専門性の高度化をさらに進める。アカデミアとの連携を深める。
- ・キャリア形成：人事異動の理由説明の充実を図った。人事担当者のスキルアップを図り、職員との対話を充実させる。人事評価のフィードバックを強化する。
- ・マネジメント：幹部向けマネジメント研修の充実を図った。対象者や研修内容を拡充し、実施時期を前倒しするなど、さらに高度化する。

働く環境の整備

- ・業務効率化：職員からの疑問や質問に、生成AIを活用して回答する支援システムの提供を行った。職員のニーズに応じたツールの開発をさらに進める。
- ・柔軟な働き方：育休明け職員や育児中職員間の交流イベントを開催し、ライフステージに応じた働き方に関する情報共有や職員同士のネットワークづくりを促した。サテライトオフィスを8月より導入する。
- ・コミュニケーション：金融庁のバージョンアップの取組に関する対話を全庁的・集中的に行った。幹部・職員間、課室単位、少人数グループ単位などの意見交換や庁内外への情報発信をさらに充実させる。全職員が参加可能なチャットを開設し、課室を超えたコミュニケーションを促進する。
※政策評価有識者会議や金融行政モニターなどの外部有識者のご意見を引き続き金融庁のバージョンアップに活かしていく。
- ・オフィス環境の改善：執務室のレイアウトやデスクの刷新など、オフィス改革を進めた（直近では6月に実施）。この取組を金融庁全体に広げる。

以上を含め、今後も、金融庁のバージョンアップの取組を進めることにより、絶えず自己変革し、質の高い金融行政サービスを提供し続けていく。

【スローガン】

金融の信頼を守り、明日への挑戦を拓く。^{ひら}

【スローガンに込めたメッセージ】

金融は、個人や企業、そして社会全体の営みを支える基盤です。
金融の信頼があるからこそ、お金のやりとりに安心が生まれます。
日々、世界が複雑に変化する中でも、私たちは、金融の信頼を守り続けます。

この信頼をもとに、便利で多彩な金融が行き渡る社会を追い求めます。
個人や企業が、身近な一歩から世界への飛躍まで、将来につながる挑戦に
踏み出せるよう、私たちは挑戦を続けます。明日への挑戦を拓きます。

その先にある、持続的な経済成長や安定的な資産形成——
そして一人ひとりが明るい未来を描ける社会を、私たちは実現していきます。